

# 各部の運営方針と目標

平成24年度

平成 24 年 5 月



三 鷹 市

## 平成24年度「各部の運営方針と目標」の策定にあたって

このたび、平成24年度の「各部の運営方針と目標」を策定しました。

「各部の運営方針と目標」は、市民の皆様に向けた「説明責任の確立」を図るとともに、行政評価による効率的・効果的な「成果重視の自治体運営」をさらに前進させるため、私が市長に就任した平成15年度から始めた取り組みです。

内容は、それぞれの部ごとに、①「部の使命・目標」に関する認識、②職員数、予算規模といった「部の経営資源」、③第4次基本計画及び平成24年度の施政方針に基づく「各部の重点事業」等の内容で構成しています。また、本年度は、持続可能な自治体経営の創造に向けてさらなる行財政改革を推進するために、各部の重点事業の中に「行革推進事業」を位置づけました。

三鷹市では、まずは各職場が日常的な業務を通じて受け止めている市民の皆様のニーズを基礎にした各部の主体的な問題意識を政策に反映させるために、毎年10月に市長、副市長、教育長の理事者が、各部との協議を重ねる「政策会議」を開催しています。この会議では、当年度事業の進捗状況を確認するとともに、各部長等から新年度に向けた意欲的な新規事業等の提案が行われます。すなわち、今年度の「各部の運営方針と目標」の策定については、去年の秋から本格的に議論を始めているのです。私はその過程で、各部からの提案を尊重しつつ、市長としての市政運営の理念や個別政策に対する考えを率直に伝え、短期的及び中長期的な視点、新規の政策や既存の政策との整合性、補助金等の財源との関係などといった「多元的視点」に立って、各部と政策についての議論を展開します。こうした三鷹市の「活発な政策論議を行う風土」により、今後のめざすべき方向性を共有しつつ、厳しい社会経済状況等を考慮した実現性の高い目標の設定へと調整を図っていくのです。

こうした過程を経て策定した「各部の運営方針と目標」は、各部の部長の名前を掲載し、「市民の代表」である市長と「部の管理者」である部長との「成果契約」として市民の皆様公表します。部長の責任と権限のもとに、自立的な各部の運営による着実な日々の経常業務の遂行と、政策実現過程での諸課題解決について、各部の機動力と応用力を発揮した柔軟な対応が図られています。

さて、今年度は、平成34(2022)年度を目標年次とする第4次基本計画及び20を越す個別計画の「計画実行元年」です。私は、施政方針で掲げた「震災の危機を乗り越えて、安全で安心して暮らせるまちを創り、希望あふれる三鷹の『今』と『未来』を創造する」ために、この「各部の運営方針と目標」の達成に向けて、三鷹市の強みである「職員力」と「組織力」の最大化・最適化を図りながら、全職員一丸となって取り組んでまいります。

平成24(2012)年5月

三鷹市長 清原慶子